

令和5年度 2年i組 学級経営方針

担任 本田 堅固

1 生徒数 男子 3名 女子 1名 計 4名

2 学級目標

- 「どんなことにも挑戦する」
- 「おちついて5分前行動を心がける」
- 「1年生と仲良くする」

失敗することを避けたいという思いが強い生徒が多く、新しいことへの挑戦を躊躇している現状があり、生徒たちから「挑戦」という目標があがった。学級活動などで、失敗から学んでいくことが大切だということをさらに伝えていく。また、こだわりが強く、決まった時間内で行動することが苦手な生徒がいるので、クラス全員で相互に声かけを行う。

3 生徒の様子

(1) 健康面

- ・ 服薬が必要な生徒：2名（学校では服薬なし）
- ・ 食物アレルギーのある生徒：なし

(2) 行動面

- ・ 遅刻や早退、欠席はほとんどなく、生徒の出席率は良好。
- ・ ほとんどの生徒に、学校生活のきまりも守ろうとする姿勢が見られる。
- ・ ほとんどの生徒が、教員の話聞き、指示の通りに動くことができる。
- ・ 友達の行動が気になってしまい、自分のことに集中して取り組めない生徒がいる。
- ・ 急に声を出したり、飛び跳ねてしまう生徒がいるので、安全面の配慮が必要。

(3) 学習面

- ・ 真面目に学習に取り組む生徒がほとんどである。
- ・ 毎日の日記において、学んだ漢字を使うことが課題となっている生徒が数名いる。
- ・ 学力や生活年齢、精神年齢に大きなばらつきがあり、学級全体での授業では授業内容の工夫や生徒への支援が必要である。

(4) その他

- ・ 愛の手帳取得済みの生徒：2名
- ・ 愛の手帳未取得の生徒：2名

4 学級経営の重点事項

(1) 健康安全面

- ・ 家庭と連携し、睡眠や食事を十分に取るなど、規則正しい生活を送る。
- ・ 自分の物の管理や、身の回りの整理整頓を日頃から意識し、清潔な環境を維持する。
- ・ 理学療法士と連携し、身体面での機能向上を図る。

(2) 生活指導面

- ・自分の課題を理解し、認め、改善しようとする気持ちを持ちながら学校生活をおくる。
- ・授業時間と休み時間、制限時間など、時間を意識して生活をする。
- ・来年には最上級生となることを考え、特に、1年生への声かけや手助けをする。

(3) 学習指導面

- ・授業に主体的に取り組む態度を育てる。
- ・自分のできること、自分でできることを増やしていく。
- ・職場体験を見通して、進学先や自分がやりたいことなどの進路について考える。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

(1) 健康安全面

- ・連絡帳や保護者会などの場面で、生徒の様子を伝えあい、家庭との連携を図る。
- ・教室の整理整頓を生徒とともにやり、生徒が自主的に行動できるよう促す。
- ・身体面、特に指の巧緻性を高めるトレーニングを行っていく。

(2) 生活指導面

- ・失敗から学ぶこと、次につなげていくことが大切であることを伝え、どうしたら良いかを考える時間をつくる。
- ・教室の掲示物を整理し、視覚的に理解しやすい環境作りを行う。
- ・3年生の良いところを見て学び、真似ることから始め、1年生をサポートしていく。

(3) 学習指導面

- ・具体的な目標や、手順を板書するなど、視覚的に何をするのか分かりやすくする。
- ・自分から行動したことを称賛し、生徒のやってみたいという姿勢を引き出す。
- ・生徒の身近にある仕事の調べ学習から始め、自分の進路を考えるきっかけを作っていく。
また、委員会活動や係活動を通じて仕事への責任感を育てていく。